

研究計画書

ゼミ名	小山ゼミⅡ	チーム名	メガンテ
タイトル	財政健全化と消費税増税～増税の経済学～		
テーマ群	b)財政・金融		
メンバー	杉村知佐 乾誠史郎 鈴木孝規 荻野克典 上吹越悟 秋吉将希 尾崎悠斗 山本哲也		
研究計画内容	<p>2014年4月1日より、消費税率が5%から8%へ上がった。これは1997年に3%から5%への増税以来、17年ぶり2回目の増税であり、大きなニュースとなった。これにより人々の暮らしは少しずつ影響を受けている。我々はこの増税に対し、何故税率が上がったのか、上がった分の税金がどのように使われるのか、また増税により社会や国民にどのような影響がでているのかなどの疑問を持ち、今回の研究テーマに至った。また、今回の研究を通して2015年10月に実施されるとされている10%への更なる増税について、その是非を考察する。</p> <p>研究の流れとしては、以下のとおりである。</p> <p>まず、消費税増税について調査するにあたり、国民が普段収めている税金とはなにか、どういう目的で集められているのかについて明確にする。そして、今回の8%への増税は何故実施されたのか、財政赤字、少子高齢化といった我が国の現状や問題と共に明らかにし、集められた税金の行方について紹介する。そこから、過去、そして現状の増税の影響について様々な視点からのデータを見ながら、今後の影響、増税は正しかったのか、10%への増税を控え今後どうすべきかについて考え、私たちなりの答えを導き出していく。</p> <p>日常生活の買い物の中で何気なく収めてられている消費税だが、今回の研究発表を通して消費税増税の目的、またそこから見えてくる我が国の問題について知ってもらい、皆さんにも増税と我が国の将来について考えてもらえるようにしたい。</p>		